

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

太陽と暮らす甲斐適ハウス

グループの名称

山梨住宅ナビ

直近採択グループ番号

06-0235-0368

(グループ代表者)

代表者名

伊藤 博

代表者印

代表者所属先

株式会社トミタケ建設

代表者所在地

山梨県甲府市富竹2-3-1

代表者電話番号

055-224-5035

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社七保

事務局担当者名

塩谷 英之

印

事務局郵便番号

400-0813

事務局所在地

山梨県甲府市向町296

事務局電話番号

055-222-7001

事務局FAX

055-222-7070

事務局担当者E-mail

enya@nanaho.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		30	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	30	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		11	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	11	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		21	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	21	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		19	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	19	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		2	棟			
					400	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	対象住宅の請負契約書を提出頂き、その先着順とする。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	20	戸	交付申請戸数	20	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	20	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	7	戸	交付申請戸数	7	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	7	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 太陽と暮らす甲斐適ハウス	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県、隣接都県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 山梨住宅ナビ	(結成年) 2009 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0235-0368	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・日本一の日照時間の山梨の特性を活かし、太陽エネルギー(太陽光発電システム4.0kw以上)を活用できる屋根形状とする。地盤に配慮した設計とし、地盤保証を全棟義務化する	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・良質な木材ストックを有する山梨県の地域特性を活かし、主要構造材に関しては山梨県産材や合法木材を活用した100%地域材の住宅を目指す。 ・グループとして山梨県産材の普及に努める。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・富士山をはじめとするハケ岳や南アルプスなどの雄大な山々を望む開口部をもうける。	◎
④①～③の背景	山梨県の特徴である日照時間は、全国平均1897.4時間であるのに対し、山梨県は2183時間で全国第一位の長さである。また、富士山やハケ岳、南アルプスをはじめとする山々の雄大な自然を満喫することが出来る。杉、檜、唐松などの良質な木材が伐採期を迎えている。この地域特性を活かす取り組みを行う。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施主様・施工事業者・資材納入業者間の現場情報の共有と確認を兼ねた個別施工ホームページを立ち上げ、これと連携した写真管理システムを採用する。また、指定点検時期の告知を受けることのできる住宅履歴情報サービスを活用し適切な維持管理を行う。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材における土台・梁・柱においては、105角以上かつ合法木材を使用する	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 当グループの賛助会員である資材メーカーに推奨資材リストを作成してもらい、グループとしての建材統一化を図る。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が「認定低炭素住宅」・「ゼロ・エネルギー住宅」・「長期優良住宅」の汎用性のある標準仕様を作成し、施工業者に提供する。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が主体となり、建材及び資材の購入を「施工事業者→資材供給事業者→資材メーカー」と一本化することにより、調達の共同化を図る。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 資材メーカー・原木供給・製材業者から価格、ストックの状況、などの市場状況の情報収集を行う。その情報をグループ内で共有することにより、安定的な資材調達を目指す。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内において標準仕様・仕入れ価格・業務フローなどの検討会を定期的に開催する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 資材メーカー・原木供給・製材業者から集めた市場状況の情報を、事務局からグループ内へ発信する。また、検討委員会においても事務局が主体となり呼びかけを行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 消費者に対して建築中の現場の情報公開と進捗報告をコミュニケーションを図る為に、消費者・施工者・資材納入業者間の現場情報の共有と確認を兼ねた個別施工ホームページの立ち上げを行い、これと連携した写真管理システムの採用する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 山梨県は軟弱地盤が多いため、地盤調査を実施し同時に地盤保証を付ける。また、長期優良住宅、認定低炭素住宅においては、第三者の検査を入れることを推奨し、適切な施工が行われていることの客観的評価を受け消費者の安心と信頼関係を構築する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 消費者に対して積算を明確にするため、一式見積を廃止する。また、グループとして標準見積書や工程管理表を作成し消費者にとって分かりやすい書式を施工業者に提供する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: HPの活用やイベント開催。また賛助会員でもある地域メディアの協力のもとグループの取組について情報公開を行い、信頼性向上につなげる。また、併せて消費者にとって公平公正な情報提供を行うことで地場産業である住宅産業の地域活性化に努める。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員に対して週休2日制への取り組みについて啓蒙活動を行う。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 大工育成プログラムを策定し若手大工の育成を行っている。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 賛助会員と協力し構成員に対して社会保険加入について徹底を図る。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 安全及び健康の確保のため講習会を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	山梨住宅ナビの設立当初より目指してきた「地域に根差した工務店グループ」として地場産業である住宅産業の活性化、延いては山梨県の地域振興・森林資源再生にまで繋がる家づくりに引き継ぎチャレンジしていく。地域に根差した工務店グループである「山梨住宅ナビ」は、住まい手と作り手が協力して家づくりに取り組み、計画から建築、そして引き渡したのちの定期点検、補修など維持管理をすることで長年にわたり安心・安全に住まえる住環境を提供する組織を目指す。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)		(地域型住宅の名称) 太陽と暮らす甲斐適ハウス		(地域型住宅供給対象地域) 山梨県、隣接都県		
2. グループの名称・結成年月(必須)		(グループの名称) 山梨住宅ナビ		(結成年) 2009 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)		06-0235-0368				
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。						
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備						
【平成30年度対応方針】					◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 維持管理計画書の提出と指定図書の住宅履歴サービス機関への蓄積の義務化。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 住宅履歴サービス機関である住宅あんしん保証が運営する「あんしんいかるて」の活用。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 補助金申請時に「あんしんいかるて」の登録義務化とし、それを事務局がチェックする。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 指定時期(1年・3年・5年・10年・15年・・・)における点検を実施する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 適切な定期点検を行い、必要に応じたメンテナンス及びリフォーム提案を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 点検結果及び補修内容を履歴情報として「あんしんいかるて」に蓄積する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: グループ資材供給事業者が主催する展示会(3月・9月)を通じ、消費者向けお手入れ教室の開催。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: ③-1で3月・9月に開催するイベントで、消費者に対しDIY商品の提案とワークショップの案内を行う。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 事務局が主体となり、消費者向けの住宅ローン・土地・工務店選びの相談会を年2回行う。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 引き渡し後の適正な維持管理が行われているかのチェックを年2回行う。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 少人数工務店など自社で維持管理の継続が難しい施工業者に対しフォローをグループ内で行う。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 倒産廃業した場合は事務局が中心となり定期点検を含む維持管理を引き継ぎ実施する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 住宅あんしん保証から講師を招き、技術的勉強会を開催する。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		地域に根差した工務店グループとして当グループが供給する住宅については長期にわたって安心・安全に住むことが出来、また計画的に点検と補修、メンテナンスを行うことで住宅の価値の維持・向上に努め良質な住環境を消費者に提供できるよう研鑽しつづける。				◎
エ. グループの技術力の向上						
【平成30年度対応方針】					◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 未経験工務店に対しグループ標準仕様の提案を行い理解を深める。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	→ 内容:		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	→ 内容:		
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 長寿命型・高度省エネ型において、グループとしての標準仕様を策定する。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 標準仕様を推奨することでグループ全体に新基準の理解度を深め設計・施工の技術向上を目指す。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 標準仕様を共有し、設計・施工の効率化、資材供給の合理化を進め、現場コストの低減に取り組む。	◎	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数	82	今年度の参加目標人数	21	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数		
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	→ 内容: 省エネ技術者講習の講習日の案内を事務局より発信しグループ内の参加を促す。	◎	
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	→ 内容:		
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	→ 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		新築住宅の建築後及び既存住宅への対応力向上のため、「維持管理に関する考え方と技術指針」・「維持管理保全計画書作成」・「リフォーム工事の技術研修と施工の基準化」等研修会の開催や「既存住宅現況検査技術者講習」受講の推進などにより、適切かつ確実に維持管理・メンテナンスの対応ができる工務店グループとなる。				◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 太陽と暮らす甲斐適ハウス	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県、隣接都県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 山梨住宅ナビ	(結成年) 2009 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0235-0368	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄		
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材の柱・土台・梁・桁等の横架材において山梨県産材(杉、檜、唐松)または合法木材を使用する。山梨県産材については山梨県産材管理票を、合法木材については合法木材証明書を添付。
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が主体となり原木供給・製材・プレカット業者から情報収集を行い、その情報をグループ内で共有する。
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 在庫の把握と同様に原木供給・製材・プレカット業者から情報収集を行い、市場動向に基づいた価格の情報をグループ内に案内し共有する。
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 昨年度、地域型住宅グリーン化事業において当グループのルールに沿って主要構造材100%地域材を採用し今年度においても地域材の確保は問題なく対応可能である。
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 山梨県の地場産業である市川三郷町の和紙の活用をグループ内で提案し、地場産業の活性化を目指す。
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄		
	東日本大震災の復興に資する取組	福島県のプレカット工場と提携し、中・大規模木造及び国産材のログハウス、JAS大径材の開発の普及に取り組む
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 太陽と暮らす甲斐適ハウス	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県、隣接都県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 山梨住宅ナビ	(結成年) 2009年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0235-0368	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

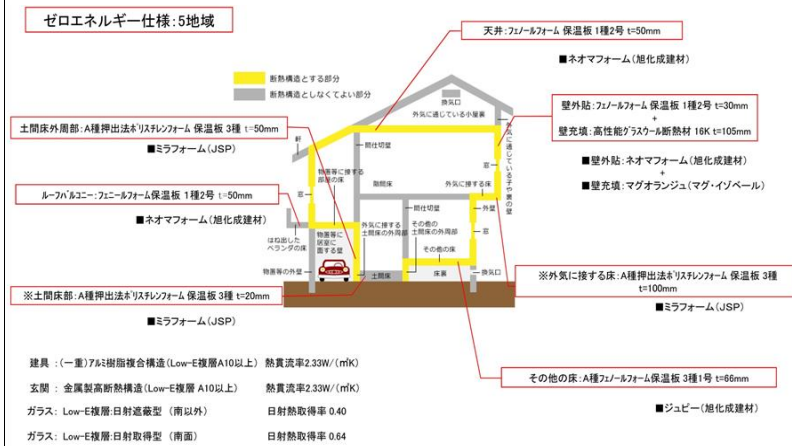
当グループが取組む高度省エネ型住宅は下記の通りである。

・ゼロ・エネルギー住宅

- 3地域: 太陽光発電を除く評価であるエネルギー削減率(Ro)28%、全体としてのエネルギー削減率(R)103%とする。
- 4地域: 太陽光発電を除く評価であるエネルギー削減率(Ro)25%、全体としてのエネルギー削減率(R)112%とする。
- 5地域: 太陽光発電を除く評価であるエネルギー削減率(Ro)29%、全体としてのエネルギー削減率(R)112%とする。

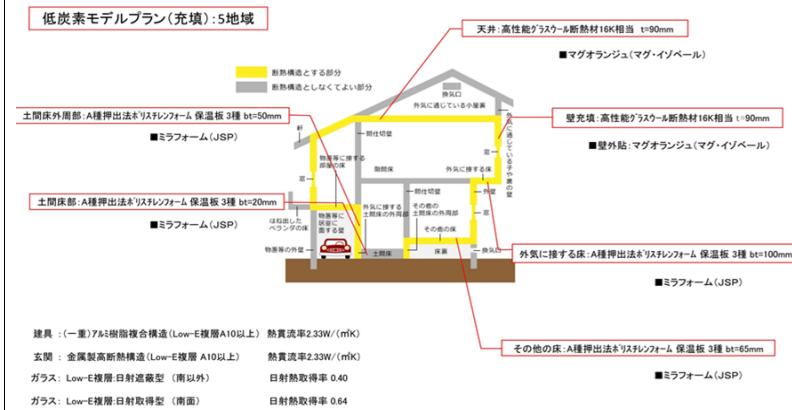
当グループの仕様についてはグループの賛助会員である資材メーカー協力のもとグループが推奨するゼロ・エネルギー住宅基本仕様および認定低炭素住宅仕様に関して作成し下記の通りとした。

『ゼロ・エネルギー住宅』H28年基準 5地域の場合の仕様例



- 暖房設備**
【主たる居室】ルームエアコンディショナー、エネルギー消費効率の区分:区分(Ⅰ)
【その他の居室】ルームエアコンディショナー、エネルギー消費効率の区分(Ⅱ)
- 冷房設備**
【主たる居室】ルームエアコンディショナー、エネルギー消費効率の区分:区分(Ⅰ)
【その他の居室】ルームエアコンディショナー、エネルギー消費効率の区分(Ⅱ)
メーカー:Panasonic、三菱
- 換気設備**
壁付け式第二種換気設備または壁付け式第三種換気設備
比消費電力:0.05W/(m/h)
換気回数:0.5回/h ※比消費電力:消費電力(W)÷換気設備の設計風量(m³/h)
メーカー:Panasonic
- 給湯設備**
【熱源機】
電気ヒートポンプ給湯器(CO2系・冷媒(JIS効率:3)、ふる給湯器(節電あり))
【配管】
ヘッダー方式(ヘッダー分岐後のすべての配管径が13A以下)
【水栓】
台所:手元止水、浴室:シャワー:手元止水・小流量吐水機能、洗面:節湯方式を採用しない
【浴槽】
高断熱浴槽
メーカー:Panasonic
- 照明設備**
【主たる居室】【その他の居室】【非居室】:すべての機器において白熱灯を使用しない
メーカー:Panasonic
- 太陽光発電設備**
システム容量:5kW、種類:結晶シリコン系
パネル方位:真南から東および西へ±5度未満、屋根:パネル傾斜:20度
メーカー:Panasonic

『認定低炭素住宅』H28年基準 5地域の場合の仕様例



- 太陽光発電設備**
システム容量:1kW以上、パネル方位:真南から東および西へ±5度未満、屋根:傾斜:規定なし
- 照明設備**
【主たる居室】【その他の居室】【非居室】:すべての機器において白熱灯を使用していない
- 暖房設備**
【主たる居室】ルームエアコンディショナー、エネルギー消費効率の区分:区分(Ⅰ)
【その他の居室】ルームエアコンディショナー、エネルギー消費効率の区分(Ⅱ)
- 冷房設備**
【主たる居室】ルームエアコンディショナー、エネルギー消費効率の区分:区分(Ⅰ)
【その他の居室】ルームエアコンディショナー、エネルギー消費効率の区分(Ⅱ)
- 換気設備**
壁付け式第二種換気設備または壁付け式第三種換気設備
比消費電力:0.05W/(m/h)
換気回数:0.5回/h ※比消費電力:消費電力(W)÷換気設備の設計風量(m³/h)
- 給湯設備**
【熱源機】
電気ヒートポンプ給湯器(CO2系・冷媒(JIS効率:3):※エコキュートフルオート460L
ふる給湯器(節電あり))
【配管】
ヘッダー方式(ヘッダー分岐後のすべての配管径が13A以下)
【浴槽】
高断熱浴槽

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。